

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 29 年 1 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名		点検項目		周期	点検結果
原水調整設備	調整槽	調整槽ポンプ	浮遊物除去	6	—	高度処理設備	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月	○	
			本体付着物除去	年	—			空洗タイマー設定値(分)	月	○	
			潤滑油交換	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			外観	年	—			空気弁動作確認	月	○	
			プロペラ確認	年	—			No.1 活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—				逆洗タイマー設定値(分)	月	○
	原水槽	No.1原水ポンプ	浮遊物除去	月	○		No.2 活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○	
			フロートスイッチ動作	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			本体付着物除去	月	○			空気弁動作確認	月	○	
		No.2原水ポンプ	潤滑油交換	年	—		ゼオライト原水ポンプ	*-2 本体付着物除去	年	—	
外観			年	—	潤滑油交換	年		—			
プロペラ確認			年	—	外観	年		—			
生物処理	第一PH調整槽	攪拌機	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	放流槽	消毒槽	浮遊物除去	6	—	
			本体付着物除去	年	—			浮遊物除去	6	—	
			潤滑油交換	年	—			フリクトスイッチ動作確認	6	—	
	第一沈澱池	掻寄機	トラフの損傷、越流状況	月	○		No.1処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			浮遊物の除去	月	○			潤滑油交換	年	—	
	第一汚泥ピット	返送汚泥ポンプ	グリッド補充	6	—			外観	年	—	
			本体付着物除去	年	—			プロペラ確認	年	—	
			潤滑油交換	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
			外観	年	—			No.2処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—
	プロペラ確認	年	—	潤滑油交換	年		—				
硝化槽	1槽	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	外観	年	—				
		散気状態	月	○	プロペラ確認	年	—				
		散気状態	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—				
		散気状態	月	○	1-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—			
		散気状態	月	○		潤滑油交換	年	—			
		脱窒素槽	1槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○	外観	年	—		
オイル交換(業者)	年			—	プロペラ確認	年	—				
2槽	水中攪拌機攪拌状況			月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
再曝気槽	循環ポンプ	オイル交換(業者)	年	—	2-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—			
		散気状態	月	○		潤滑油交換	年	—			
		本体付着物除去	年	—	外観	年	—				
		潤滑油交換	年	—	プロペラ確認	年	—				
		外観	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—				
		プロペラ確認	年	—	2-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—			
キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	潤滑油交換	年		—					
凝集沈殿	第二PH調整槽	攪拌機	水中攪拌機攪拌状況	月	○	3-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
			オイル交換(業者)	年	—		潤滑油交換	年	—		
	脱気槽	攪拌機	電磁弁動作確認	月	○	外観	年	—			
			散気状態	月	○	プロペラ確認	年	—			
	混和槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
			プロペラ確認	年	—	3-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
	凝集槽	No.1攪拌機	回転部スケール除去	年	—		潤滑油交換	年	—		
			プロペラ確認	年	—	外観	年	—			
	第二沈殿槽	No.2攪拌機	回転部スケール除去	年	—	プロペラ確認	年	—			
			プロペラ確認	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
高度処理設備	中和槽	攪拌機	トラフの損傷、越流状況	月	○	4-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
			浮遊物の除去	月	○		潤滑油交換	年	—		
	ろ過原水槽	*1 ろ過原水ポンプ	掻寄機	グリッド補充	6	—	外観	年	—		
			回転部スケール除去	年	—	プロペラ確認	年	—			
			プロペラ確認	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
			浮遊物除去	6	○	4-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
			フリクトレベルスイッチ動作	6	○		潤滑油交換	年	—		
			本体付着物除去	年	—	外観	年	—			
			潤滑油交換	年	—	プロペラ確認	年	—			
			外観	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
プロペラ確認	年	—									
キャブタイヤケーブル絶縁	年	○									

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可  
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

\*-1 11月にポンプの交換を行っているため、ポンプの引き上げ点検は行っておりません。  
 \*-2 ポンプの引き上げ点検は、未使用の為行っておりません。

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 29 年 1 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名		点検項目		周期	点検結果
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○	
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○	
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○	
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○	
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○	
			タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	6	○	
		凝集助剤A	ストレーナー清掃	月	○			吸引ろ過器詰め物交換	年	—	
			タンク内部確認	年	○		タンクの清掃点検	年	—		
		凝集助剤B	ストレーナー清掃	月	○		第二汚泥ピット	排泥ポンプ	本体付着物除去	6	○
			タンク内部確認	年	○				潤滑油交換	年	—
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	6	—	外観			年	—	
		No.1苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	プロペラ確認			年	—	
		No.2苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	キャブタイヤケーブル絶縁		年	—		
		No.3苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	浮遊物除去		6	○		
		No.4苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	汚泥濃縮槽		濃縮汚泥ポンプ	本体付着物除去	6	○
		塩化第二鉄	潤滑油交換	6	—				潤滑油交換	年	—
		硫酸	潤滑油交換	6	—				外観	年	—
		凝集助剤	潤滑油交換	6	—				プロペラ確認	年	—
	薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月	○		キャブタイヤケーブル絶縁		年	—	
		塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月	○		散気管確認		6	—	
りん酸		実量測定(ml/分)	月	○	フリクトレベルスイッチ動作	6	—				
凝集助剤		実量測定(ml/分)	月	○	給排水設備	床排水	床排水ポンプ	浮遊物除去	6	○	
ブロウ設備	ブロウ	No.1曝気ブロウ	温度	3				—	本体付着物除去	6	○
			安全弁動作	3				—	潤滑油交換	年	—
			各接合部締付	3				—	外観	年	—
			Vベルト張り状態	3				—	プロペラ確認	年	—
			ベアリンググリス交換	6				—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
			ギヤオイル交換	6		—	浮遊物除去	6	○		
		No.2曝気ブロウ	Vベルト交換	年		—	本体付着物除去	6	○		
			圧力計交換	年		—	潤滑油交換	年	—		
			吸込フィルタ清掃	年		—	外観	年	—		
			*2 No.3曝気ブロウ	温度	3	—	プロペラ確認	年	—		
				安全弁動作	3	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
				各接合部締付	3	—	浮遊物除去	6	○		
	Vベルト張り状態	3		—	本体付着物除去	6	○				
	ベアリンググリス交換	6		—	潤滑油交換	年	—				
	ギヤオイル交換	6		—	外観	年	—				
	原水槽攪拌ブロウ	原水槽攪拌ブロウ	Vベルト交換	年	—	プロペラ確認	年	—			
			圧力計交換	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
			吸込フィルタ清掃	年	—	槽内点検	月	○			
汚泥貯留槽攪拌ブロウ			安全弁動作	3	—	警報の有無	月	○			
			Vベルト張り状態	3	—	清掃	年	—			
			ギヤオイル交換	3	—	PH計	第一PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05	
		ベアリンググリス交換	6	—	KCL確認、補充			月	○		
		Vベルト交換	年	—	電極の清掃及び校正		月	○			
		フィルタエレメント交換	年	—	硝化槽		設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25		
空洗ブロウ		安全弁動作	3	—			KCL確認、補充	月	○		
		Vベルト張り状態	3	—	電極の清掃及び校正		月	○			
		ベアリンググリス交換	年	—	第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55			
	ギヤオイル交換	年	—	KCL確認、補充		月	○				
	Vベルト交換	年	—	電極の清掃及び校正	月	○					
	フィルタエレメント交換	年	—	混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45				
			KCL確認、補充		月	○					
			電極の清掃及び校正	月	○						
			中和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85					
				KCL確認、補充	月	○					
			電極の清掃及び校正	月	○						

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可  
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

## 電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 29 年 1 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロワ	1	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2曝気ブロワ	2	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3曝気ブロワ	3	電流値(A) : 170A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
原水槽 攪拌ブロワ	4	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6	3.16	3.16	3.24	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6	3.01	3.04	3.16	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6	4.38	4.51	4.53	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 2.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注)測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR、S、T 絶縁抵抗値はR-E、S-E、T-Eとします。

判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については3φは0.2MΩ以上とし1φは0.1MΩ以上とします。

## 電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 29 年 1 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6	6.84	7.15	7.49	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6	13.74	13.92	14.30	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	17	15	15	○
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6	-	-	-	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.1処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6	7.57	7.91	8.27	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 搔寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロワ	46	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
汚泥貯留槽 攪拌ブロワ	47	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6				
		電流値(A) : 3.5A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6	7.53	7.94	7.98	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-1放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-2放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-1放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-2放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-1放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-2放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-1放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-2放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします

備考 ゼオライト原水ポンプは、通水不可のため絶縁抵抗測定のみ実施